

令和5年度 神戸防災技術者の会（K-TEC）

第18回総会（第223回定例会）

日時：令和5年6月13日（火）18時20分～

総合司会 濱 尚美

I. 総会の部

場所：こうべまちづくり会館2階ホール

時間：18時20分～18時45分

次第

1. 開会

2. 議長選出

3. 議案

第1号議案 役員について

第2号議案 令和4年度活動報告

第3号議案 令和4年度決算及び監査報告

第4号議案 令和5年度活動計画

第5号議案 令和5年度予算

4. その他 ①第6回東日本大震災被災地調査・交流報告書の配布

②第10回「震災対策技術展」大阪

7月6日（木）～7月7日（金）マイドーム大阪

詳細URL：<https://clk.nxlk.jp/m/DfmyEqpJD>

5. 閉会

II. 第2部 講演

場所：こうべまちづくり会館2階ホール

時間：18時50分～19時40分

「トルコ共和国における被災地派遣の報告」

神戸市危機管理室課長（K-TEC 幹事） 能勢 正義

III. 第3部 懇親会

場所：こうべまちづくり会館3階多目的室

時間：19時45分～20時45分

（会費 1,000円）

令和5年度 神戸防災技術者の会 第18回総会 議案書

第1号議案 役員について

幹事

再任一青木利博・太田敏一・西 修・能勢正義・濱 尚美・松岡達郎・松下 真

監事

新任一衣川 広美、再任一松山雅洋

幹事補佐

新任一久保田裕二、再任一渡邊一弘

会計

新任一田中亜矢子、補佐一曾谷はなこ（K-TEC 規定には無し）

事務局（K-TEC 規定には無し）

新任一水口和彦・広脇 淳、再任一仲田文人・曾谷はなこ・福田敬正・熊野創・片瀬範雄

第2号議案 令和4年度活動報告

令和2年4月の新型インフルエンザ等対策特別措置法の発令に伴い、厳しい活動の制限を受けてきたが、令和4年3月21日をもって、兵庫県がまん延防止等重点措置実施区域から解除されたこともあり、「定例会」「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会（以下勉強会）」も、ZOOM方式を併用して、まちづくり会館で毎月開催を行うことが出来た。

また「神戸で学ぶ防災学習」にも多くの修学旅行生などを迎えることが出来るなど、ほぼ例年通りの活動を展開することが出来た。

6月の総会においては、K-TEC が東日本大震災後に行ってきた被災自治体への復興支援のあり方について、色々と相談に応じて頂き、指導を頂いていた元復興庁次官（現市町村職員中央研修所学長）の岡本全勝氏から、「東日本大震災 復興の10年」と題して記念講演を頂いた。

1. 定例会と勉強会の開催

ほぼ月2回開催ペースで20回をリアルとZOOM方式で開催した。

議題などについての詳細は【資料—1】（定例会と勉強会を合わせて表示）を参照。

2. 伝承活動

伝承活動の詳細は【資料—2①②】に記載したとおり、23学校・団体から依頼を受け、延べ50回の開催において、約3,460人に対して実施した。

特に、東京都など9都県市危機管理担当者会と神戸市危機管理室及びK-TECとの意見交換会は、今後の大都市における災害時の支援体制づくりの足掛かりとなることを期待したい。

3. 市民公開セミナー

① 「ぼうさいこくたい2022」（第7回防災推進国民大会2022in兵庫（10月23日）への参加）

・NPO1.17の希望の灯り、みなとのもり公園運営会議と共催

・みなとの森公園、1・17希望の灯り、旧居留地、メリケン波止場等を案内（約50名参加）

・今回の事例を参考に、今後も3者共催で伝承活動を行うことで合意

② 神戸BOKOMIフェスタ（10月30日）への参加

・神戸学院大学において、K-TEC活動を紹介

・K-TECのブースへの訪問者は少数

① 神戸防災のつどい2023（1月15日）

- ・中央区文化センターにおいて、危機管理室主催の行事に参加
- ・テーマは「災害時の避難について～自分のこととして考える～」
- ・参加者 会場参加者・ZOOM参加者を含め約40名

4. 神戸市職員研修

コロナ禍で3年間休止していた職員研修が復活し、講師については職員研修所より、震災当時の係長クラスを中心に派遣の要請を受けた。

- ① 係長昇任5年次研修・体験談（12月15～16日、講師4名）
- ② 新規採用職員研修・体験談（1月23日～26日、講師4名）

5. 大学関係

- ① 神戸学院大学 「阪神・淡路大震災研究」（平成18年度より講義）
- ② 神戸流通科学大学「地域防災論」（平成25年度より講義）

6. 各種団体との連携

「NPO都市災害に備える技術者の会」や「神戸クロスロード研究会」と協働で伝承活動を実施

7. 東日本大震災被災地視察・交流（12月9日～12日、10名参加）

福島県原発事故被災地を中心に、R元年水害・R4年4月地震被災地の視察・交流と共に、神戸市派遣職員の激励を行う

3回にわたる定例会等で、現地状況の報告をすると共に、「第6回東日本大震災被災地調査・交流」記録誌を発行

8. ホームページについて

伝承活動記録や修学旅行生の情報などの掲載を予定していたが、ホームページの活用が不十分であり、今後の検討テーマとする。

第3号議案 令和4年度決算及び会計監査報告

- ・令和4年度決算報告書 【資料-3】
- ・令和4年度会計監査報告 【資料-4】

第4号議案 令和5年度活動計画

1. 定例会

- ・毎月第2火曜日の18時15分から20時50分（まちセンの体制縮小のため終了時間厳守）に開催する。
- ・定例会のテーマは幹事他会員の要望を広く聞きながら決める。
- ・東日本大震災被災地関連事項や、その他災害情報を共有・発信すると共に、支援策の検討などを行う。
- ・阪神・淡路大震災被災30年、K-TEC発足20年を前にして、心に残る行事の開催について検討をする。

2. 「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」

- ・定例会の開催日にも行う。
- ・テーマはハード面が終了した後は、市民生活面のテーマに移行する様に関係者と協議する。
- ・勉強会テーマが一巡した段階で、座学やまち歩き活動などに活用しやすい様に資料の整理を行う。

3. 伝承活動

① 神戸市職員研修

新規採用職員と係長昇任5年次研修に加えて、一般職員研修についても危機管理室や職員研修所と協議しながら、研修のあり方を考える。

② 「神戸で学ぶ防災学習」

- ・ 修学旅行生のみに関わらず、防災関係者への伝承活動も進める。
- ・ 会員が誰でも座学やまち歩きガイド、クロスロードゲームのコメンテーターが出来る様に、定例会において、勉強会で作成した記録なども参考に、資料や説明事項の拡充を図る。

③ 講師の派遣

危機管理室、BOKOMI、交流団体、小中学校から大学までに加えて、地域団体や自治会などの要請にこたえて、講師を派遣する。

④ 「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」の関連データ

保管方法や公表方法について検討する。

⑤ ホームページの活用と発信

K-TEC が行った伝承活動の掲載について検討する。

⑥ ZOOM 発信のあり方

K-TEC 活動を広く周知するため、また定例会等の ZOOM 発信のあり方について検討する。

⑦ 他団体との連携強化

防災・減災活動を行う上でのスキルアップのため、各種団体の研修や講習会開催の情報を発信し、会員に参加を呼び掛け、交流機会を増やす。

第 5 号議案 令和 5 年度予算（案）

・ 令和 5 年度予算(案)

【資料—5】

資料－1 【第2号議案関係】

令和4年度 神戸防災技術者の会 (K-TRC) 定例会及び伝承活動をみんなで分かち合う勉強会 記録 (回数の200回台は定例会、2桁回数は勉強会)

月・日	回数	活動内容又は勉強内容
4月 4日	209回	阪神・淡路大震災における商店街・小売り市場の復興支援 現在：中小商業企業研究所、神戸元町商店街連合会事務局長 中多 英二氏 震災時：神戸市経済局中小企業指導センター診断指導係長
4月 26日	18回	港湾施設の被災状況と復旧・復興 震災の教訓と現在の神戸港に繋がる話題 (前編) 仲田 文人
5月 10日	210回	東日本大震災における各自の想い、福島の子供の今後の支援の在り方について ～6月総会での元復興庁事務次官「岡本全勝氏」記念講演の事前勉強会～として参加者で意見交換会
5月 24日	19回	港湾施設の被災状況と復旧・復興 震災の教訓と現在の神戸港に繋がる話題 (後編) 仲田 文人
6月 14日	211回	東日本大震災復興 挑戦の10年－国土の復旧からくらしの再建へー 岡本 全勝氏 (元復興庁事務次官・現市町村職員中央研修所 学長)
6月 28日	20回	神戸港の高潮対策 仲田 文人
7月 12日	212回	まち歩きガイドのブラッシュアップ作戦 (まち歩きコース・説明用写真集・説明の内容 (ネタ集の改善)・ガイドの増員方法等)
8月 9日	213回	「諏訪山温泉物語」 諏訪山地域の発展過程について 笹原 和喜男
8月 23日	21回	建築関係伝承①兵庫県南部地震と住宅の被害 建築住宅局長 根岸 芳之
	215回	① 応急仮設住宅の供給②神戸市震災復興緊急整備条例③災害公営住宅等の供給④民間住宅の再建支援⑥現在 (その後の状況)
9月 13日	22回	建築関係伝承②耐震化の推進 建築住宅局 建築住宅局安全対策課耐震水深担当課長 上村 竜生
		① 耐震改修促進法の改正課程と主な改正点②市有建築物の取り組み③民間住宅への取り組み (木造) ④ポーアイ住宅耐震改修
9月 27日	23回	建築関係伝承③震災復興にあたっての住宅局指導課・住環境整備課の取り組み OM 神戸住宅指導課 池口 和雄
		① 応急危険度判定②復興基本方針・84条区域指定・緊急整備条例③建築規制緩和による市街地・住宅復興支援 ④他都市建築職員の長期応援⑤住市総・密集・街なみ環境・優良・復興資金
10月 11日	23回	建築関係伝承④神戸市住宅供給公社の被災マンション再建支援～東山コーポ再建の裏舞台を語る～元神戸市住宅供給公社 谷崎 幸彦
	216回	① マンションの被災状況②民間マンションの被災状況調査③被災マンションの再建支援④市住宅供給公社の分譲マンション再建支援 ⑤東山コーポ建替事業計画
10月 25日	24回	建築関係伝承⑤市有建築物の被災状況と営繕部の滑動 建築住宅局保全課 藤本守彦
		① 震災の発生から復旧・復興へ～営繕部での業務～②公共建築物の復旧・復興③構造別被害の特徴④被害の要因と耐震基準 ⑤耐震の教訓

11月 8日	25回 217回	建築関係伝承⑥住宅復興を振り返る～復興メッセを軸に～ ① メッセの構想②メッセ開設までの作業③メッセの開設④体制⑤業務⑤活動⑥メッセの機能と活動実績⑦メッセ各事業の活動報告 ⑧住宅復興を振り返る⑨今、思うこと	西神ニュータウン研究会代表 橋本 彰氏
12月 13日	26回	神戸市復興計画の策定過程 ① 震災復興本部総括局の創設②復興計画ガイドラインの策定③神戸市復興計画書④市民参加⑤神戸とニューオーリンズ復興過程比較 ⑥アフターよりビフォア	元震災復興本部総括局 太田 敏一
1月 10日	218回	「第6回東日本大震災被災地視察&交流」の報告① 浪江町(石井)・大熊町(松下)・富岡町(柿本)	
2月 14日	27回 219回	神戸市復興計画の推進業務 ① 復興計画推進の基本的な考え方と組織体制②復興計画推進における検証の結果③PDCAサイクル④新たなビジョン ⑥「神戸の今」の課題⑦総括・検証	元神戸市都市問題研究所 常務理事 本庄 雄一
2月 28日	28回	阪神・淡路大震災後の神戸市財政について ① 膨大な震災関連事業費②深刻な財源不足④急増する市債残高⑤低迷する市税収入⑥財政材検に向けた取り組み⑦まとめ	監査事務局長 久戸瀬 修次
3月 14日	220回	「第6回東日本大震災被災地視察&交流」の報告②名取市(石堂)・山元町(石堂)・相馬市(橋本)・南相馬市(西)	

資料一2 ① 【第2号議案関係】 令和4年度 自治体・各種団体・中高校生・大学等への伝承活動

月日	研修名	対象者	受講者概数	場所又は内容	派遣者
4月～9月	神戸学院大学 阪神・淡路大震災研究 13回	神戸学院大学 現代社会学部 学生	延べ520名	神戸学院大学	松山・手塚・(小谷)
10月～12月	神戸流通科学大学(大学連携)「地域防災論」5回	流通科学大総合政策部学生	延べ200名	流通科学大学	能勢・栗田
4月8日	千葉県立流山おおたかの森高等学校 修学旅行	高校生	160名	まち歩き	青木・石井・太田敏・笹原・ 太田耕・水口・松下・橋田
4月16日～ 5月25日	浦和実業学園高等学校 修学旅行 (5日間にわたり延べ9回)	高校生	760名	まち歩き	青木・太田敏・曾谷・水口・ 石井・笹原・石堂・橋上・片瀬 橋田・倉橋
6月1日	岐阜県山県市伊自良中学校 修学旅行	中学生	25名	座学・まち歩き	片瀬・太田敏
8月5日	おじや震災ミュージアムそなえ館	中学生・指導者	10名	まち歩き	柿本・片瀬
9月7日	福島県郡山ザベリオ学園中学校	中学生	42名	座学・まち歩き	石井・片瀬
9月27日	白金の丘中学校	中学生	55名	座学・まち歩き	青木・石井・水口・桜井・片瀬
9月29日	愛知県立一宮高等学校	高校生	360名	座学	片瀬
10月18日	埼玉県(私立)開智高等学校	高校生	155名	座学・まち歩き	太田耕・笹原・曾谷・水口・ 橋田・仲田・倉橋・片瀬
10月22日	岐阜県川辺中学校	中学生	84名	まち歩き	青木・石井・笹原・曾谷・ 水口・倉橋
10月24日	茨城県立波崎柳川高等学校	高校生	77名	まち歩き	笹原・松岡・櫻井・仲田・片瀬
10月28日	沖縄県立開邦中学校	中学生	160名	まち歩き	青木・石井・笹原・石堂・ 松岡・松下・仲田・倉橋・片瀬
10月29日	北海学園	高校生	34名	まち歩き	倉橋・片瀬
10月31日	和歌山県日高中学校	中学生	91名	まち歩き	青木・石井・笹原・曾谷・ 橋上・柿本・片瀬
11月2日	9都道縣市地震対策担当者会議	東京都・神奈川県・千葉県・埼玉 県・5指定都市職員	17名	意見交換会・ まち歩き	能勢・佐藤・倉橋・片瀬

資料一2 ② 【第2号議案関係】 令和4年度 自治体・各種団体・中高校生・大学等への伝承活動

月日	研 修 名	対 象 者	受講者概数	場所又は内容	派 遣 者
11月2日	千葉県立鎌ヶ谷西高等学校	高校生	136人	まち歩き	青木・曾谷・水口・仲田・ 倉橋・片瀬
11月11日	埼玉県立大宮光陵高等学校	高校生	78名	座学・まち歩き	青木・石井・曾谷・水口
11月18日	埼玉県熊谷農業高高等学校 延べ3回	高校生	245名	まち歩き	青木・石井・太田敏・曾谷・ 太田耕・水口・橋田・櫻井・ 片瀬
11月31日	宮城県仙台市明成高等学校	高校生	81名	まち歩き	青木・笹原・倉橋・片瀬
12月14日	茨城県立潮来高等学校	高校生	89名	まち歩き	太田耕・笹原・水口・松下・ 仲田・片瀬
1月16日 & 1月21日	大阪公立大学生田先生ゼミ学生他	大学生・研修生・先生等	10名 & 20名	まち歩き	倉橋・片瀬
3月4日	三田市フラワータウン民生児童委員会	民生・児童委員	50名	座学・まち歩き	片瀬

トルコ共和国における被災地派遣の概要

1. トルコ・シリア大地震概要

発生日時： 2023年2月6日 4:17、13:24

規模： Mw7.8、7.5

死者： 56,000人超[※]

建物倒壊： 68万棟超[※]

避難者： 250万人超[※]

※4月6日付報道資料より

2. 訪問場所

チュクロフ、カフラマンマラシュ、アンタキヤ、サマンダー、イスケンデルン、パヤス

3. 派遣の主な目的

被災建物の原因調査、今後に向けた提言

4. 派遣者

○武庫川女子大学

建築学部教授 柳沢 和彦（建築設計計画学、建築設計）※建築学科長・専攻長

建築学部教授 鳥巢 茂樹（建築構造設計学）

建築学部教授 田川 浩之（建築構造工学）

○神戸市

建築住宅局建築指導部長 田中 幸夫

危機管理室課長（計画担当） 能勢 正義

5. 相手側対応者

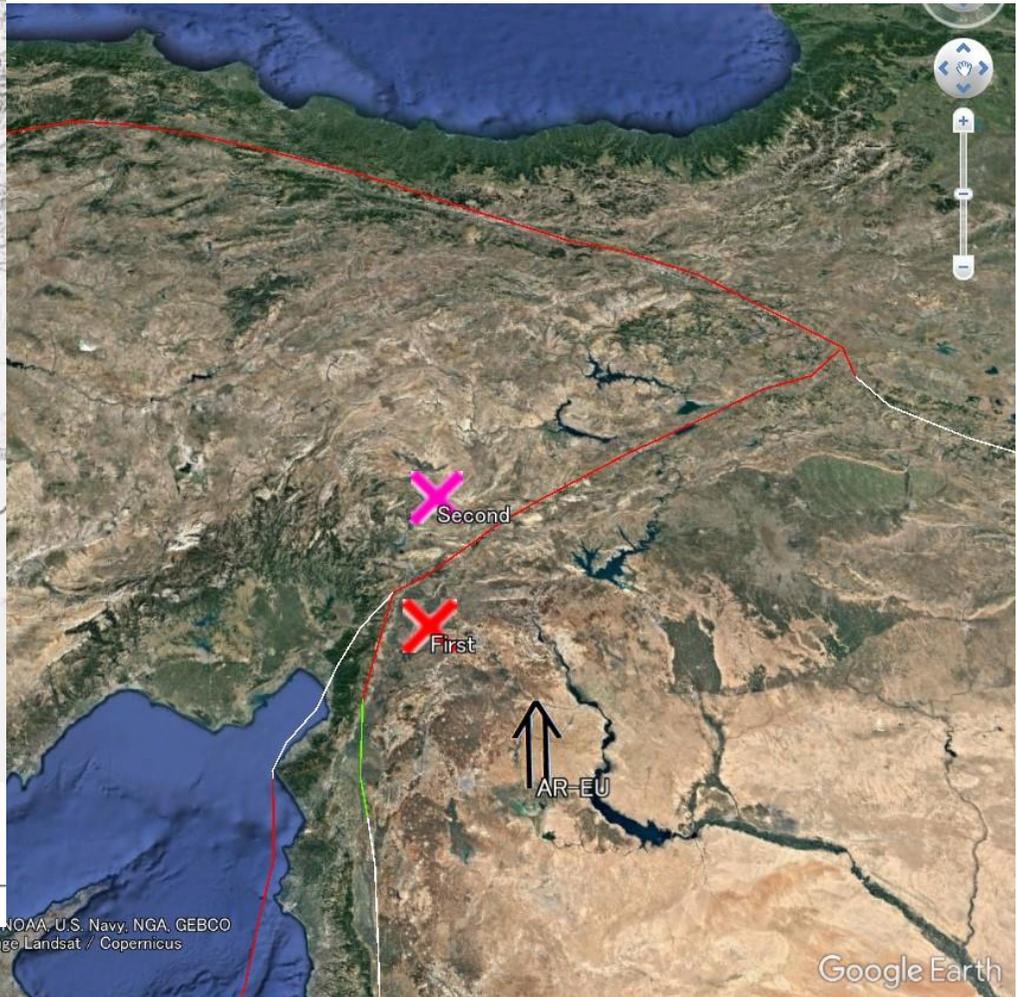
バフチェシヒル大学 ムラト教授（建築デザイン学部長）

6. 関係者（武庫川女子大学）

建築学部長・大学院建築学研究科長 岡崎 甚幸（おかざき しげゆき）教授

2023年2月 2つの震源場所

断層線と震源



Source: INGV